

平成30年度版 改善計画

学校名：ひばりが丘高等学校

No.	項目	現状と課題	H31年度に目指すべき状態	①H30年度に実施する内容 ②H31年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	会議及び議題の精選は進んでおり、多くの会議が短時間で終わっている。	必要最小限の回数で、短時間でも周知徹底できる会議。	① 連絡・報告事項については、週2回の打合せを活用して会議時間の短縮を図る。 ② 事前の情報共有による会議の効率化。	
2	学校行事の負担軽減	生徒会行事の運営は、生徒主体で行うように指導する。	学園祭等多くの生徒会行事が、生徒主体で行われている。	① 主体的に行動できる生徒会組織と生徒の育成。 ② 生徒会行事に限らない全行事の見直しと精選。	
3	校内組織の見直し	昨年度末に統合による改編を行った。その検証を今年度に行う。	必要最低限の組織による校務運営。	① 改編後の分掌・委員会などの校内組織の検証。 ② 学校規模や職員数を考慮した校内組織の在り方の検討。	
4	業務の効率化	分掌内における役割分担を明確にし、主任等個人に業務が集中しないようにしている。	分掌・クラスなどの運営が、教員間の連携によるチームとして行われている。	① 分掌内における役割分担の明確化と効率的引継ぎ。 ② 教員間の連携強化の模索。	
5	部活動の負担軽減	複数顧問制をとり、活動日数、活動時間も無理の無いように設定している。	複数顧問制による、活動日数、活動時間に無理の無い部活動。	① 無理のない活動日数、活動時間を徹底した計画作成。 ② 定時制高校としての部活動の在り方の検証。	
6	地域人材の活用	創作授業等の行事で地域の人材を講師として活用し、教員の負担を軽減している。	可能な地域の人材活用による教員の負担軽減と地域との連携の強化。	① 可能な地域人材活用の継続。 ② 現行以外の地域人材活用の可否を検討。	
7	(学校独自の項目)				
8	(学校独自の項目)				

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。